

## V. 点検評価シート

対象事業：伊勢原市教育振興基本計画 後期基本計画  
重点取組 70本



# 点検評価シートの構成と見方

点検評価シートは Plan (計画)、Do(実行)、Check (評価)、Action (改善) の4つの要素で構成されています。

**伊勢原市教育振興基本計画  
後期基本計画の施策**

**重点取組**

**事業／指標**  
重点取組ごとに「後期基本計画」で設定した指標に対して、平成29年度の達成状況を明記しました。

**取組内容**  
平成29年度の主な取組内容を明記しました。

**自己点検評価結果**  
A・B・Cの3段階で結果を表しました。  
※評価は単年度

**後期基本計画期間全体の自己点検評価**  
対象期間5年間の自己点検評価結果を明記しました。

**第2期教育振興基本計画に向けた考え方**  
自己点検評価結果を踏まえ、今後の方向性を明記しました。

伊勢原市  
第5次総合計画

総合計画では  
**5つのまちづくり目標**  
を掲げています

暮らし力、安心力、活力、都市力、自治力の5つの力を「未来へ届ける力」として位置付け、将来都市像の実現に向け、相互に連携しながら様々なまちづくりを展開します。

  

施策	1-1-1 未就学児に関する相談や就学相談機能の充実								
Plan (計画)	No.1	就学相談の充実						所管	教育指導課 (教育センター)
	目的	障がいのある児童生徒の視点に立って、一人ひとりのニーズを把握し、必要な支援を行い、また、通常の学校に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒へ対応するため、きめ細やかな就学指導に努めます。							
	事業	指標	当初値	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	目標 30年度まで
	就学相談・指導	実施状況	随時実施	実施	実施	実施	実施	実施	継続実施
	平成29年度の取組内容								
	・就学相談を必要とする保護者を対象に説明会を開催し、就学先候補への見学同行・面談を重ね、保護者の意向を確認しながら進めました。平成29年度は138件の就学相談を行い、うち92件について、伊勢原市就学指導委員会を開催し、就学指導等に関する調査、審議及び判定を行いました。 ・小学校入学に係る審議件数 42件 (そのほか、相談のみの件数:46件) ・中学校入学に係る審議件数 23件 ・在籍替えに関する審議件数 27件								
	各年度の評価一覧								
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
	進捗状況	A	A	A	A	A			
	有効性	A	A	A	A	A			
効率性	A	B	B	A	A				
Check (評価)	後期基本計画期間全体の自己点検評価								
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず		希望する全ての保護者に対して就学相談を実施しました。					
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い		きめ細やかな就学相談を行うことにより、一人ひとりの教育的ニーズの把握ができ、それぞれの状況に応じた就学につながることができています。					
	効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された改善の余地がある <input type="radio"/> 本格的な改善が必要		指導主事と教育相談員の協働及び就学前相談機関等との連携により、対象児の状況を的確に把握し、就学相談の充実を図ることができました。					
Action (改善)	第2期教育振興基本計画に向けた考え方								
	・保護者との合意形成のための十分な時間を確保するために、ケースによっては、就学相談を就学2年前から開始するなどの改善が必要です。 ・引き続き、他部署や就学前教育機関等との連携を図り、切れ目ない支援体制づくりに努めます。								

施策	1-1-1	未就学児に関する相談や就学相談機能の充実
----	-------	----------------------

D i a n n 【計画】	No.1	就学相談の充実						所管	教育指導課 (教育センター)
	目的	障がいのある児童生徒の視点に立って、一人ひとりのニーズを把握し、必要な支援を行い、また、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒へ対応するため、きめ細かな就学指導に努めます。							
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 30年度まで
	就学相談・指導	実施状況	随時実施	実施	実施	実施	実施	実施	継続実施

D o 【実行】	平成29年度の取組内容								
	<p>・就学相談を必要とする保護者を対象に説明会を開催し、就学先候補への見学同行・面接を重ね、保護者の意向を確認しながら進めました。平成29年度は138件の就学相談を行い、うち92件について、伊勢原市就学指導委員会を開催し、就学指導等に関する調査、審議及び判定を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校入学に係る審議件数 42件 (そのほか、相談のみの件数:46件)</li> <li>・中学校入学に係る審議件数 23件</li> <li>・在籍替えに関する審議件数 27件</li> </ul>								

C h e c k 【評価】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	B	B	A	A

C h e c k 【評価】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	A	・希望する全ての保護者に対して就学相談を実施しました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
A	・きめ細やかな就学相談を行うことにより、一人ひとりの教育的ニーズの把握ができ、それぞれの状況に応じた就学につながることができています。	
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	
A	・指導主事と教育相談員の協働及び就学前相談機関等との連携により、対象児の状況を的確に把握し、就学相談の充実を図ることができました。	

A c t i o n 【改善】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<p>・保護者との合意形成のための十分な時間を確保するために、ケースによっては、就学相談を就学2年前から開始するなどの改善が必要です。</p> <p>・引き続き、他部課や就学前教育機関等との連携を図り、切れ目ない支援体制づくりに努めます。</p>	



施策	1-2-1	家庭の教育力向上に向けた支援
----	-------	----------------

D i a n 【 計 画 】	No.1	幼児家庭教育学級の開催						所管	社会教育課	
	目的	子育て中の保護者が公民館講座等様々な学習の機会を通じて、子育てに関する不安を解消し、家庭教育のあり方を学びながら、仲間づくりの輪を広げることにより、家庭における教育力の向上を図ることを目的とします。								
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 (29年度迄)	
	幼児家庭教育学級 新ママセミナー開催	年間講座数 参加者数	29講座	30講座	31講座	30講座	33講座	31講座	継続実施	
			423人	748人	747人	477人	595人	684人		

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各公民館では、幼児を持つ保護者を対象に「幼児家庭教育学級」を開催しました。保育ボランティア制度を活用し、保育付き事業として実施することにより、保護者には子育てに関する知識や技術等について安心して学べる場を、子どもには保育を通じて同年代の子どもたちとの集団生活を体験する場を提供しました。</li> <li>また、知識習得だけでなく、アロマセラピーやヨガ等の講座を取り入れ、子育てママのリフレッシュも図りました。</li> <li>参加者684人の内訳：親348人、子ども336人</li> </ul>								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	A	B	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	A	・親子一緒に参加できる講座も多く、当初値より参加人数も増え、より親子のふれあいを大事にすることができました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
A	・家庭教育に関する知識を得るための座学だけでなく、保護者のリフレッシュを図るメニューも取り入れており、孤立しがちな保護者のストレスの解消や仲間づくりを図ることができました。	
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	
A	・講座の開催日程や回数等を見直し、対象者が参加しやすくなったことで効率的に事業を実施することができました。	

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<p>・社会環境の変化により核家族化が進む等、子育ての不安や悩みを抱えて孤立したり、育児疲れからストレスを抱えている保護者が多く見受けられます。保育付き講座のように子育て中の保護者が参加しやすい学習環境を整えることで、心身のストレスを軽減したり、仲間づくりを支援したりする効果がありますが、母親のリフレッシュと同時に父親の家事・育児参加を促すような講座の充実が必要です。</p>	

<b>施策</b>	1-3-1	幼稚園・保育所と小学校の連携を推進します
-----------	-------	----------------------

<b>D</b> <b>l</b> <b>a</b> <b>n</b> <b>【</b> <b>計</b> <b>画</b> <b>】</b>	No.1	<b>幼稚園・保育所と小学校との交流</b>						所管	教育指導課	
	目的	幼稚園・保育所から小学校生活への円滑な適応を図るため、幼稚園・保育所と小学校との交流活動を促進し、子ども一人ひとりの心身の健康と発達状況の情報共有や指導法及びカリキュラムの工夫について研究を進めます。								
		事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 (29年度迄)
		各種交流活動の実施	実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	実施	継続実施

<b>D</b> <b>o</b> <b>【</b> <b>実</b> <b>行</b> <b>】</b>	<b>平成29年度の取組内容</b>								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>全小学校において、1年生活科に「ようこそ年長さん」の単元が設けられ、学区内にある認定こども園、幼稚園及び保育所の年長児を小学校に招き、児童と校庭で遊んだり歌ったりするなどの交流活動を行ったり、小学校の授業参観をしました。(5認定こども園、5幼稚園、11保育所と連携し、各小学校が1回以上実施)</li> <li>全小学校の運動会において、認定こども園、幼稚園及び保育所の年長児を対象とした「かけっこ」などの競技を行い、幼児や保護者が小学校の様子を直接感じ取れる機会を設けました。</li> <li>全小学校において低学年担当の教職員等が認定こども園、幼稚園及び保育所を訪問し、子どもの発達状況などの情報を共有する機会を設けました。</li> </ul>								

<b>C</b> <b>h</b> <b>e</b> <b>c</b> <b>k</b> <b>【</b> <b>評</b> <b>価</b> <b>】</b>	<b>各年度の評価一覧</b>					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	B	B	A	A	A

<b>C</b> <b>h</b> <b>e</b> <b>c</b> <b>k</b> <b>【</b> <b>評</b> <b>価</b> <b>】</b>	<b>後期基本計画期間全体の自己点検評価</b>		
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず	各小学校の年間計画に認定こども園、幼稚園及び保育所との交流活動は位置づけられており、計画どおり実施されました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い	<ul style="list-style-type: none"> <li>本交流が職員間の連携につながっています。</li> <li>年長児の小学校入学前訪問等は、幼児や保護者にとって、入学に向けた動機付けとなっています。</li> </ul>
	効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	実施回数や時間が限られた中で、有意義な交流活動や教職員間の情報共有が実施されました。

<b>A</b> <b>c</b> <b>t</b> <b>i</b> <b>o</b> <b>n</b> <b>【</b> <b>改</b> <b>善</b> <b>】</b>	<b>第2期教育振興基本計画に向けた考え方</b>	
	引き続き、幼稚園・認定こども園・保育所と小学校の交流活動が促進され、子ども一人ひとりの心身の健康と発達状況の情報共有や指導法及びカリキュラムの工夫について研究がなされるような支援に努めます。	

施策	1-3-1	幼稚園・保育所と小学校の連携を推進します
----	-------	----------------------

P l a n 【 計 画 】	No.2	地域教育機関等連絡協議会の開催						所管	教育指導課 (教育センター)	
	目的	幼児・児童生徒の知・徳・体のバランスある成長のために、発達の段階に伴う生活実態についての情報交換を行い、各教育機関の連携とそれらに関わる職員の交流を図り、地域教育機関の連携を深めます。								
	事業	指標	当初値	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	目標 (29年度迄)	
	地域教育機関等連絡協議会の開催	年間開催数	4回	4回	4回	4回 (1回は意識調査)	4回 (1回は講演会)	4回 (1回は研究発表会と同時開催)	継続実施	

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<p>・市内にある幼稚園・保育所等(21園)、小中学校(14校)、中等教育学校(1校)、高等学校(3校)、特別支援学校(1校)が集まり、伊勢原市内の幼児・児童生徒の情報交換や各教育機関等の連携、職員や幼児、児童生徒の交流を促進するため、年間4回を計画し、計画通りに実施しました。</p> <p>・第3回目の会議では、小中学校教職員による研究発表や討議などを通して、本市の教育活動や教職員研修などについて情報を共有しました。(教育センター研究発表会と同時開催)</p>								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	B	A	A	A
	効率性	B	B	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	A	<p>・平成28年度は、各教育機関の意向を踏まえ、これまでのグループ構成に戻して実施しました。平成29年度も、引き続き各ブロックのテーマにそった研究・実践を行いました。</p>
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
A	<p>・職員同士の連携及び交流、情報交換を行うことにより、児童生徒の発達の段階による違いへの理解を深めることができます。</p>	
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	
A	<p>・4回のうち、1回を研究発表会と同時開催とするとともに、夏季休業中に実施し、会の精選・充実を図ることができました。</p>	

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<p>・異校種の連携によるこれまでの継続的な取組は、本市の特色ある取組となっています。これまでの取組を大切にするとともに、学習指導要領の改訂を受け学校段階等間の円滑な接続を図ります。</p>	

施策	2-1-1	確かな学力の育成
----	-------	----------

D i a n 【計画】	No.1	小学校教科担当制等の推進					所管	教育指導課		
	目的	小学校高学年において教科担当制を推進し、小中学校連携によりきめ細やかな学習指導、生活指導の充実を図ることで、児童の学力向上と円滑な中学校生活への適応を図ります。								
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 (29年度迄)	
	非常勤講師の配置	配置人数	0人	1人	1人	2人	3人	3人	4人	

D o 【実行】	平成29年度の取組内容								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大田小学校、石田小学校に非常勤講師を配置し、高学年を中心に教科担当制を実施しました。</li> <li>・伊勢原小学校の5、6年生を対象に、中沢中学校から兼務教員(理科・英語)を配置し教科担当制を実施するとともに、中学校には派遣教員の担当授業を補充するための非常勤講師を配置しました。</li> <li>・配置校においては、派遣された教員や担任等が担当教科を分担し、より専門性の高い学習指導を行いました。また、複数の教員により多面的な児童理解に努め、生活指導の充実を図りました。</li> <li>・保護者や児童生徒に対してアンケート調査を行い、効果の検証を行いました。</li> </ul>								

C h e c k 【評価】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	C	A	B
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	B	B	A	A	A

C h e c k 【評価】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input type="radio"/> 計画どおり <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	B	・概ね計画どおり非常勤講師を任用することができました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
	A	・アンケート調査から実施校では中学校への円滑な接続に一定の効果が見られました。また、児童や保護者が担任以外の教員からも指導を受けることに対して高評価であること等が明らかとなりました。

A c t i o n 【改善】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校教員が小学校を兼務するための後補充や、直接小学校に配置するための非常勤講師の人材をいかに確保するか、また、小学校を兼務する中学校教員の負担をいかに軽減するかが大きな課題となっています。今後1人を2校に配置するC方式を導入することにより、より多くの学校で教科担当制が行えるようにするなど、さらに効果的な方法を研究し本事業を推進していく必要があります。</li> <li>・教員が担当する教科を絞って教材研究することにより効率的かつ深まりのある教材理解ができるとともに、複数回同じ内容の授業を実施することで、指導力の向上が得られています。引き続き、各小学校において、教科担当制の取組を推進できるよう支援に努めます。</li> </ul>	

施策	2-1-1	確かな学力の育成
----	-------	----------

P l a n 【 計 画 】	No.2	きめ細やかな指導体制の推進					所管	教育指導課		
	目的	全ての子どもに、変化の激しい社会で「生きる力」を身に付けさせるために、きめ細やかな学習指導体制を推進することを目的とします。確かな学力をはぐくむために、基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、それらを探求し、活用する学習の推進を図ります。								
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 (29年度迄)	
	非常勤職員の配置	配置人数	小学校 4人	小学校 3人	小学校 3人	小学校 2人	小学校 1人	小学校 2人	小学校 4人	
	指導補助員の配置	配置人数	小学校(12人) 中学校(5人)	小学校(10人) 中学校(5人)	小学校(12人) 中学校(5人)	小学校(11人) 中学校(5人)	小学校(10人) 中学校(5人)	小学校(11人) 中学校(5人)	小学校(18人) 中学校(8人)	

D o 【 実 行 】	<b>平成29年度の取組内容</b>								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>全小学校で、1、2年生の35人以下学級を実施しました。2年生での実施にあたっては、県から加配された人員をあてて対応することが必要なため、市では少人数指導等に当たる人員の補填として、当該の1校に非常勤講師を配置しました。</li> <li>各校の実態に応じて対象学年や教科を定め、1学級を分割して学習する少人数指導等を実施しました。</li> <li>小学校に11人(伊勢原小、成瀬小2名、その他大山小学校を除く各小学校に1名)、中学校に5人(伊勢原中2名、その他の各中学校に1名)の指導補助員を配置し、集団生活への適応支援や学習指導の補助を行いました。</li> </ul>								

C h e c k 【 評 価 】	<b>各年度の評価一覧</b>					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	B	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	<b>後期基本計画期間全体の自己点検評価</b>		
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校低学年における35人以下学級の編制や小中学校における少人数指導等を実施するとともに、小中学校に指導補助員を配置することで、児童生徒の学力の向上や基本的な生活習慣の定着を図ることができました。非常勤講師、指導補助員ともに、配置要項に基づき適切に配置することができました。</li> </ul>
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い	<ul style="list-style-type: none"> <li>全小学校で、1～2年生の35人以下学級による指導が実施され、きめ細やかな指導体制を実現できました。</li> <li>小中学校で少人数指導やチームティーチングを実施することで、きめ細やかな指導を行うことができました。</li> </ul>
	効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各小中学校の該当学年の人数や学級数に応じた人員を配置することができました。</li> </ul>

A c t i o n 【 改 善 】	<b>第2期教育振興基本計画に向けた考え方</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校35人以下学級の対象学年の拡大など、更にきめ細やかな学習指導体制の確立が求められています。</li> <li>認定こども園、幼稚園及び保育所から小学校入学への円滑な移行のため、基本的な生活や学習の習慣が身に付くよう、きめ細やかな指導体制を整えていく必要があります。学校からは、指導補助員の有効性が評価されており、複数配置を求める声も多くあります。そのため、指導補助員の配置のあり方について検討する必要があります。</li> </ul>	

<b>施策</b>	2-1-2	豊かな人間性の育成
-----------	-------	-----------

<b>P</b> <b>l</b> <b>a</b> <b>n</b> <b>【</b> <b>計</b> <b>画</b> <b>】</b>	No.1	<b>道徳教育・人権教育の推進</b>					所管	教育指導課		
	目的	基本的な生活習慣や規範意識を身につけ、他人への思いやりが持てる豊かな心を持った児童生徒の育成を目指します。人権を尊重し、好ましい人間関係を育て生命の尊さや社会的弱者への理解を深める取組を推進するとともに、いじめなどをしない他人を思いやることのできる人間性を育むことを目的としています。								
		事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 (29年度迄)
		道徳教育全体計画及び年間指導計画に基づいた指導	実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	実施	継続実施

<b>D</b> <b>o</b> <b>【</b> <b>実</b> <b>行</b> <b>】</b>	<b>平成29年度の実行内容</b>									
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校では、道徳教育全体計画、人権教育年間指導計画に基づき、道徳教育及び人権教育を実施しました。</li> <li>教育委員会では、道徳教育推進教師を対象とした研修会を実施し、各校の取組について情報交換や協議を行うことで、学校における道徳教育の充実を図りました。</li> <li>講師を招聘した人権移動教室を成瀬小学校で実施しました。10月18日(木)</li> <li>人権教育推進校として指定した高部屋小学校の研究の支援をしました。</li> </ul>									

<b>C</b> <b>h</b> <b>e</b> <b>c</b> <b>k</b> <b>【</b> <b>評</b> <b>価</b> <b>】</b>	<b>各年度の評価一覧</b>					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	B	A	A	A	A

<b>C</b> <b>h</b> <b>e</b> <b>c</b> <b>k</b> <b>【</b> <b>評</b> <b>価</b> <b>】</b>	<b>後期基本計画期間全体の自己点検評価</b>		
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校において、道徳教育及び人権教育を計画どおり実施することができました。</li> <li>教育委員会による各取組についても計画どおり実施することができました。</li> </ul>
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校において、全体計画や年間指導計画に基づいた実践が定着し、組織的・計画的な道徳教育及び人権教育の推進が図られています。</li> </ul>
	効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳教育をテーマとした4年次教員研修会及び道徳教育推進連絡会、並びに人権教育研修会等及び人権教育関係研究大会への派遣を計画通り実施しています。</li> </ul>
		A	A

<b>A</b> <b>c</b> <b>t</b> <b>i</b> <b>o</b> <b>n</b> <b>【</b> <b>改</b> <b>善</b> <b>】</b>	<b>第2期教育振興基本計画に向けた考え方</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校における道徳教育全体計画、人権教育年間指導計画に基づいた、道徳教育及び人権教育を支援します。</li> <li>道徳教育推進教師等を対象とした研修会の実施により、各校の取組について情報交換や協議を行います。また、講師を招聘した人権移動教室を学校で実施します。</li> <li>人権教育推進校を指定し、学校における人権教育の一層の充実を図ります。</li> </ul>	

施策	2-1-2	豊かな人間性の育成
----	-------	-----------

P l a n 【計画】	No.2	伝統や文化等に関する教育の推進						所管	教育指導課
	目的	本物にふれる体験や感動を通して、児童の感性、表現力、想像力を磨き、児童の「生きる力」と豊かな人間性の育成に努めます。							
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 (29年度迄に)
	音楽鑑賞及び演劇鑑賞	年間開催数	各1回	各1回	各1回	各1回	各1回	各1回	継続実施

D o 【実行】	平成29年度の取組内容							
	<p>・小学校6年生を対象に、小学校演劇鑑賞会を開催しました。  (期日)5月12日(金) (会場)伊勢原市民文化会館大ホール (内容)劇団四季によるミュージカル「ガンバの大冒険」の上演</p> <p>・小学校5年生を対象に、小学校音楽鑑賞会を開催しました。  (期日)6月20日(火) (会場)伊勢原市民文化会館大ホール (内容)神奈川フィルハーモニー管弦楽団による演奏</p>							

C h e c k 【評価】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	A	A	A	A

C h e c k 【評価】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	A	全小学校の6年生を対象に小学校演劇鑑賞会と全小学校の5年生を対象に小学校音楽鑑賞会を実施することができました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
A	児童の体験活動の充実や心を育む教育の重要性は高まっています。事業の性質上、短期間での成果を図ることは難しいですが、児童の健全な成長を促すために、今後も継続した取組が必要です。	
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	
A	文化・芸術の本物にふれる体験や、会場の全員で歌う取組など創り上げる感動を通して児童生徒の感性を磨き、豊かな人間性の育成に資することができました。	

A c t i o n 【改善】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<p>・本物にふれる体験や感動を通して、児童生徒の感性、表現力、想像力を磨き、児童生徒の「生きる力」と豊かな人間性が育成されるよう努めます。</p>	

施策	2-1-2	豊かな人間性の育成
----	-------	-----------

D i a n 【 計 画 】	No.3	読書活動の推進						所管	教育指導課
	目的	読書に親しみが持てる取組の推進と読書環境の整備を図り、学校図書館の利用の増加とともに読書活動が促進され、児童生徒の豊かな感性と心を育むことを目的とします。							
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 (29年度迄)
	伊勢原市読書感想文コンクールの実施	年間実施回数	1回 (夏休み)	1回	1回	1回	1回	1回	継続実施
	小学生に対する「読み聞かせ」	実施状況	年間を通じて実施	年間を通じて実施	年間を通じて実施	年間を通じて実施	年間を通じて実施	年間を通じて実施	継続実施

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<p>・小中学生を対象に、「伊勢原市読書感想文コンクール」を実施し、受賞した児童生徒を表彰するとともに、読書感想文集を各校や市図書館に配布しました。  (平成28年度実績)参加児童生徒数小学校2, 238名中学校1, 526名  (平成29年度実績)参加児童生徒数小学校2, 030名中学校1, 562名</p>								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	B	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	A	・計画どおり「伊勢原市読書感想文コンクール」や全校一斉の朝読書、「読み聞かせ」を実施することができました。また、各学校において、子どもが読書に関心を持つような取組を工夫しました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
A	・取組の実施により、全児童生徒が読書の楽しさやすばらしさを体験する機会となりました。	
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	
A	・読書感想文コンクールを実施して、読書の推進を図りました。 ・各校の担当者が情報交換をすることで、児童生徒が利用しやすく学校図書館を整備するなど、工夫した取組が見られるようになりました。	

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<p>・伊勢原市読書感想文コンクールを実施するなど、児童生徒が読書に親しみが持てる取組の推進、読書環境の整備を図り、学校図書館の利用の増加とともに読書活動が促進され、児童生徒の豊かな感性と心が育まれるよう支援に努めます。</p>	



施策	2-1-2	豊かな人間性の育成
----	-------	-----------

D P l a n 【 計 画 】	No.4	学校図書館の整備充実					所管	教育指導課		
	目的	小学校及び中学校図書館の整備を推進し、読書環境の整備及び学習・情報センターとしての機能の向上を図ることで、児童生徒の読書活動の充実を図ります。								
		事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 (29年度迄)
		学校図書館の図書標準達成率	蔵書数	小学校84.4%	小学校85.7%	小学校89.3%	小学校89.5%	小学校91.4%	小学校92.8%	小学校100%
				中学校70.2%	中学校75.0%	中学校78.1%	中学校79.6%	中学校81.0%	中学校85.2%	中学校85%
		1校あたりの図書整備員の派遣	年間派遣回数	8回 (年間)	8回 (年間)	8回 (年間)	8回 (年間)	8回 (年間)	8回 (年間)	継続実施
D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容									
	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校の学校図書館に、計画的に図書を購入しました。 平成29年度増加冊数10小学校計1,454冊、4中学校計1,285冊 図書標準達成率は小学校92.8%、中学校85.2%</li> <li>小中学校の学校図書館に図書整備員(2名)を定期的に派遣しました。 図書整備員:(資格等)司書の有資格者又は図書館整備の経験者 (派遣回数)各校に月1回程度、年8回、1回4時間 (主な業務)図書、資料の分類や整理、修理等</li> </ul>									
C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧									
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	進捗状況	A	A	A	A	A				
	有効性	A	A	A	A	A				
	効率性	B	B	B	B	B				
	後期基本計画期間全体の自己点検評価									
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず			・計画的に図書を購入するとともに、適切な更新及び図書の選定により、学校図書館の蔵書の充実を図ることができました。また、定期的に図書整備員を派遣することにより、学校図書館の整備に努めることができました。					
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い			・児童生徒のニーズに応じた図書を計画的に配備することや、図書整備員の環境整備により、児童生徒の読書活動を促進することができました。					
	効率性	<input type="radio"/> 効率的に実施された <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要			・蔵書冊数の増加だけでなく、古くなった図書の廃棄も含めて、児童生徒の実態やニーズに応じた図書の配備をする必要があります。また、環境整備のためには、更なる人的配置が必要です。					
A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方									
	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の課題や最新の情報、児童生徒の実態にあった図書の整備をするため、廃棄と購入をバランスよく行い、図書を配備していきます。</li> <li>学校図書館を「学習・情報センター」「読書センター」としていつも使いやすい環境にするために、学校図書整備員の配置日数の増などを検討するとともに、各小・中学校に学校司書を配置することについて検討していく必要があります。</li> <li>図書館資料をデータベース化し、将来に向けて校内、学校間、公共図書館とのネットワーク化に対応できるよう環境整備に努める必要があります。</li> </ul>									

施策	2-1-3	健康の保持増進・体力の向上
----	-------	---------------

D i a n 【 計 画 】	No.1	定期健康診断及び感染症予防への取組						所管	学校教育課
	目的	児童生徒の健やかな学校生活の確保に努めます。							
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 (29年度迄)
	健康診断の実施	年間実施回数	実施(1回)	実施(1回)	実施(1回)	実施(1回)	実施(1回)	実施(1回)	継続実施

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医等による児童生徒を対象とする定期健康診断を実施し、健康状態及び成長状態を確認するとともに、必要に応じて精密検査・再検査を促すなど、疾病予防を行いました。</li> <li>・就学予定の児童を対象に、学校医等による就学時健康診断を行い、内科及び歯科に関する健康状態の把握及び必要な助言を行いました。</li> </ul>								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価		
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず	・定期健康診断、就学時健康診断は計画どおり実施することができました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い	・健康診断は、児童生徒の健康状態を把握するために非常に有効であるだけでなく、保健教育の機会としても有効です。
	効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	・学校医等、関係機関と連携することにより、効率的に実施されています。

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	・定期健康診断等の従来への取組に加えて、今日的課題として、新型インフルエンザ等の感染症やアレルギーについて、関係機関との連携を図りながら、取り組む必要があります。	

施策	2-1-3	健康の保持増進・体力の向上
----	-------	---------------

D i a n 【 計 画 】	No.2	体力テスト結果の分析・検証						所管	教育指導課	
	目的	体力テスト結果を分析・検証し、伊勢原市の児童生徒の特徴を把握した中で、児童生徒の体力向上と健康保持増進を目指します。								
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 (29年度迄)	
	体力テストの実施及び分析・検証	年間実施数	1回	1回	1回	1回	1回	1回	継続実施	

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<p>・全小中学校で新体力テストを実施しました。(小学校5年生、中学校2年生は国による悉皆調査、他学年は各学校で発達の段階に応じて種目を選択して実施)</p> <p>・学校では、結果データから児童生徒の特徴を把握した上で、外遊びの奨励等の体力の向上に向けた取組を実施しました。教育委員会では県教育委員会と連携し、「体力向上キャラバン隊派遣事業」や「体力向上サポーター派遣事業」を行い、教職員の指導はもとより、指導資料や啓発資料の提供を行い学校の取組を後押ししました。</p>								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	B	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	A	・計画通り全小中学校で体力テストを実施し、結果データを基に体力向上に資する取組を推進しました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
A	・体力テストの結果を、児童生徒の体力向上と健康保持増進に向けた授業づくりや児童生徒の意識向上に活用することができました。	
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	
A	・限られた保健体育の時間数の中で、効率よく体力テストを実施するための工夫改善に努めるため、県教育委員会の指導資料を活用しました。	

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<p>・体育・保健体育の授業における運動量の確保と、児童生徒の発達の段階に見合った運動実践ができるような教材研究を行い、学校体育の一層の充実を図る必要があります。</p> <p>・小学校において、休み時間に屋外で集団で遊ぶことが少ない傾向が見られることから、外遊びを奨励する取組、また、日常の生活の中でのなるべく体を動かすことを意識するよう、学校だけではなく家庭でも家族で運動について話す機会を増やすような取組を研究し、発信していく必要があります。</p>	

施策	2-1-3	健康の保持増進・体力の向上
----	-------	---------------

D i a n 【 計 画 】	No.3	授業及び部活動への専門家等の派遣						所管	教育指導課	
	目的	専門的な技術を有する地域住民を指導協力者として派遣し、部活動や体育授業の活性化を図ることにより、児童生徒が心身ともに健康で、明るく活力ある生活を営む一助とします。								
		事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 (29年度迄)
		授業等への専門家 の派遣	年間 派遣者数	水泳・柔道 タグラグビー 他	7人	8人	6人	14人	10人	継続実施
		部活動指導協力者 の派遣	年間 派遣者数	20人	31人 (ボランティア含)	33人 (ボランティア含)	38人 (ボランティア含)	42人 (ボランティア含)	42人 (ボランティア含)	継続実施

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への専門家の派遣 小学校9校にタグラグビーの専門家を派遣して、安全面や技術面でより専門性の高い指導を実践することができました。</li> <li>・部活動指導協力者の派遣 中学校の運動部活動及び文化部活動に部活動指導協力者(42人)の協力を得て、指導の充実を図りました。</li> </ul>								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	B	A	B	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	A	・指導する教職員の研究と取組に加え、外部の指導協力者の派遣を行うことで、より専門性の高い指導が実践されています。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
A	・指導する教職員の研究と取組に加え、外部の指導協力者の派遣を行うことで、専門性の高い指導が実践され、体育授業や中学校の部活動が活性化し、児童生徒が充実した学校生活を送っています。	
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	
A	・部活動において、専門的な指導を必要とする種目に対して、学校からの要望に応じて派遣することができました。指導回数も年間計画通り行うことができました。	

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校においてスポーツ活動を奨励し、児童生徒が積極的に体育や部活動に取り組めるようにするためには、専門性の高い指導が求められます。部活動では多くの種目に対応できるよう、指導協力者の人材の確保が課題になっています。</li> </ul>	

施策	2-1-4	小中連携と異校種間連携の推進
----	-------	----------------

P l a n 【 計 画 】	No.1	小中学校9年間を見通した教育活動の推進						所管	教育指導課	
	目的	小中学校の教職員間で相互理解を深めるとともに、児童生徒に関する協働体制の構築を図ることで、小中学校9年間を見通した授業づくりや、児童生徒が小学校から中学校へ円滑に進学できることを目的としています。								
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 (29年度迄)	
	小中学校教職員の交流 (情報交換・研究会)等	年間開催数	18回	18回	17回	22回	29回	45回	25回	

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各中学校区では小中学校交流会や情報交換会を計45回実施し、授業公開や教科部会での協議、情報交換等を行いました。(山王中学校区16回、成瀬中学校区9回、伊勢原中学校区11回、中沢中学校区9回)</li> <li>各中学校区では、教職員が連携し、学区パトロール、ふれあい給食、出前授業、部活動発表、母校訪問、挨拶運動、といった取組を行いました。</li> <li>教育委員会では、教職経験10年目の教員を対象とした研修会を開催し、異校種の学校で授業実践等を行いました。(小学校教員5名を中学校へ派遣、中学校教員4名を小学校へ派遣)</li> </ul>								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	B	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校交流会等は、計画通り実施することができました。</li> <li>教職経験10年目の教員を異校種の学校へ派遣し、授業実践を含めた実習を行い、その後の小中連携に資することができました。</li> </ul>
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校の教職員間で、教科指導や児童生徒指導についての情報交換や協議を行い、児童生徒に関する協働体制の構築を図ることができました。</li> </ul>	
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校交流会は、年間計画に位置づけられ、各地域の状況に応じた内容で協議等が行われています。</li> <li>個別事案に対して、小中の教職員で迅速な対応が図られています。</li> </ul>	

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校間の交流については、新学習指導要領において、「義務教育の9年間を通して児童生徒に必要な資質・能力を育むことを目指した取組が求められる」と示されたことをふまえ、小学校・中学校が同じ教育目標のもと、めざす子ども像を共有し、系統的な教育課程が編成され、それに基づいた教育が行われるよう研究を進める必要があります。</li> </ul>	

施策	2-1-4	小中連携と異校種間連携の推進
----	-------	----------------

D i a n 【 計 画 】	No.2	小中学校と高等学校及び特別支援学校等の連携	所管	教育指導課 (教育センター)					
	目的	児童生徒の知・徳・体のバランスの良い成長を図るとともに、校外における児童生徒の非行防止ならびに健全育成を図ることを目的としています。							
	事業	指標	当初値	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	目標 (29年度迄)
	地域教育機関等連絡協議会の開催	年間開催数	4回	4回	4回	4回 (1回は意識調査)	4回	4回	継続実施
	学校警察連絡協議会の開催	年間開催数	5回	5回	5回	5回	5回	5回	継続実施

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域教育機関等連絡協議会を4回実施しました。各ブロックでは、それぞれの研究テーマに沿った活動や研究協議が行われました。</li> <li>・学校警察連絡協議会(年5回)及び研修会(年1回)を実施し、児童生徒の問題行動の早期発見、予防対策に関する情報交換とその実践を行いました。また、いじめ防止等連絡協議会(年2回)を開催しました。</li> <li>・学校警察連絡協議会には、市内の小中学校、県立高等学校・特別支援学校、私立の高等学校、中等教育学校、警察、少年相談保護センター、児童相談所、市役所関連課の代表と担当者が参加しました。</li> </ul>								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	B	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 計画どおり</li> <li>○ 概ね計画どおり</li> <li>○ 計画どおり進捗せず</li> </ul>
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域教育機関等連絡協議会を計画どおり年4回開催しました。</li> <li>・学校警察連絡協議会兼いじめ防止等連絡協議会を開催し、児童生徒の問題行動及びいじめ防止の取組を実施することができました。</li> </ul>
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高い</li> <li>○ 普通</li> <li>○ 低い</li> </ul>
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域教育機関等連絡協議会、学校警察連絡協議会兼いじめ防止等連絡協議会を通じて、異なる教育機関の職員の連携・交流、情報交換を行うことにより、各教育機関の活動に活かすことができています。</li> </ul>	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 効率的に実施された</li> <li>○ 改善の余地がある</li> <li>○ 抜本的な改善が必要</li> </ul>	
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域教育機関等連絡協議会、学校警察連絡協議会兼いじめ防止等連絡協議会の内容について見直しを図り、複雑化する児童生徒の指導上の課題について適切な対応を図りました。</li> </ul>	

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域教育機関等連絡協議会及び学校警察連絡協議会兼いじめ防止等連絡協議会を開催し、各機関との連携、情報共有に努めます。</li> </ul>	